【高等学校用】

令和４年度学校評価 中間評価

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	佐賀県立佐賀西高等学校

1　前年度 評価結果の概要	・生徒が回答する授業満足度や自己実現への進路選択達成率は高いが、教師はまだ向上の余地があると考えている。令和4年度も生徒が一歩上を目指すような取り組みを行う。 ・令和３年度も総合的な探究の時間の取り組みは高く評価できる。令和４年度もフィールドワークやオンラインを活かした外部の方との対談などを積極的に行い人間力の向上に努める。 ・本校の情報発信の取組みは十分になされていると思われる。生徒へもオンラインでの教材の発信等が行われている。令和４年度こそコロナ禍で行えなかった学校行事を十分に行い生徒が誇りをもてるような学校づくりに努める。 ・令和４年度は１年生より新教育課程と新評価が始まるので、令和３年度以上に各教科での研修に取り組んでもらいたい。また、業務改善の推進を図るためコロナ禍の前後で軽減できる学校行事があるか精査してもらいたい。
2　学校教育目標	【目的】社会の中でよりよくいきていけるようにする（Well-being） 【校是】「質実剛健」（中身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましいさま）　「鍛身養志」（互いに切磋琢磨し、体を鍛え、高い志を養う） 【目標】将来の日本や世界をリードする人材の育成
3　本年度の重点目標	【スローガン】自律 (1)　主体性・志（夢・目標）を育み、学力向上により、高いレベルで進路保障を実現する。 (2)　体験的教育活動を重視し、人格を磨き、人間力の向上に努める。 (3)　唯一無二の誇り高き信頼される学校づくりに努める。 (4)　組織力の向上と業務改善の推進を図る。

4　重点取組内容・成果指標　／　**中間評価**　／　**5　最終評価**

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	◎★高い志を持ち、自らの夢や目標の実現に向けて主体的に努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎学習状況調査結果：授業満足度 ・予習・復習、課題への取組み 92%以上 ◎★学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・自己実現への進路選択達成率 80%以上	・「総合的な探究の時間」で、社会に目を向け自分の将来像を描かせる探究活動を中心としたｷｬﾘｱ教育を実践する ・統合ｿﾌﾄClassiを活用し、各種活動履歴の整理、保存等、進路指導に有効活用する ・学年に応じた具体的な進路情報を提供、大学入試に関する理解を深める ・三者面談、保護者会等を通じて、進路指導に関する保護者の理解と協力を得る	B	・「進学のしおり」の大幅な改訂を行い、年間を通じて利用しやすい形になった。 ・「県下一斉模試」の追跡だけでなく、「西高模試」のデータを掲載し、自身の学習状況の総まとめを行えるように工夫した。 ・1,3年には学年保護者会を実施し、大学入試に関連する大学教授の講演等を入れて、進路決定までの行程について周知し、理解を得られるように取り組んだ。		・		・	各学年主任 進路指導主任
	○主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた教師の授業力向上と生徒の学習への主体的取組を確立	○学習状況調査結果：授業満足度 ・授業への評価　90%以上 ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・教師自身の授業力向上の取組みの自己評価　80%以上 ・生徒の学習への主体的取組みの自己評価80%以上 ○進研模試全国偏差値： ・1､2年　65以上 ○日々の記録集計結果： ・各学年平均200分以上	・教科会議の充実（教科内での連携を図る）、ｼﾗﾊﾞｽの見直し、教授法研究、作問・評価方法の検討等を進める ・各種研修会への積極的参加 ・担当生徒の学力以外の面も把握に努める ・各学年で教科担当者連絡会を開き、生徒の現状を把握し連携して課題解決を図る ・ｸﾗｽ担任や教科担当による個人面談や個別相談体制を充実し、きめ細やかな学習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽを行う	B	・予備校等の研修会（オンライン）については、案内が来る度に関係教科に周知し、参加を促した。 ・全国模試の成績返却に合わせて、分析の仕方についての講習会を実施した。 ・模試分析の結果分析を踏まえた生徒の現状把握はできている。 ・成績分析の後の、具体的方策については現在検討中。 ・朝補習廃止後の学習時間調査の結果については、今のところ、芳しくない。					各学年主任 各教科主任 教務主任 進路指導主任
	○ICT利活用に関する職員のｽｷﾙｱｯﾌﾟと生徒の学習用PC利活用率の向上	○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・電子黒板または学習用PCを活用した授業の実施率80%以上 ○学習用PC使用頻度調査結果（1,2年生）： ・学習への活用1日1回以上　80%以上 ・プレゼンテーションや部活動での利用率80%以上	・ICTを利活用した授業の実施 ・公開授業、研究授業 ・オンライン教材の作成 ・ICT利活用に係る各種研修会へ職員派遣 ・総合的な探究（学習）の時間、ﾎｰﾑﾙｰﾑ活動、学校行事、部活動等授業以外での、学習用PC利用機会の設定及び実施	B	・電子黒板の利用率はどの教科でも非常に高い。学習用PCに関しては教科の特性によって差がある。 ・ICTを利用した公開授業等はどの授業でも実施され、必要に応じた活用がなされている。 ・総探での学習用PCの利用率は高く、特にプレゼンテーション作成や調査等に利用されている。		・		・	各教科主任 各部活動顧問 教務主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生徒指導措置数：0件 ○部活動加入率：80%以上 ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・校則や交通ルールの順守への自己評価 90%以上	・全職員で共通認識を持ち、一貫した生活指導を行う ・登校指導等で、挨拶、身だしなみ等の指導を行う ・学校行事、部活動、生徒会活動、校外活動等への積極的参加を促進 ・生徒会の生徒宣言で「他を思いやる心」に関わる内容に触れるよう働きかける	B	・生徒指導問題が複数件起こり、1件は特別指導措置を行うこととなった。 ・部活動加入率は92%と効率であった。 ・生徒に対する「他を思いやる心」についての話を、言葉の受けとり方と絡めて話すkとができた。		・		・	各学年主任 生徒指導主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ重大事案件数：　0件 ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・いじめの早期発見と対応への評価 90%以上	・年3回いじめに関するアンケート調査を実施 ・クラス担任の個人面談、教科担任や部活動顧問、養護教諭等から広く情報を収集 ・覚知後の速やかな対策委員会開催、関係職員間での情報共有により組織的に対応し、被害生徒のアフターケアと保護者への説明を適切に実施 ・いじめの認知件数等を広報誌等で公開	B	・6月に第１回のアンケート調査を実施（いじめ事案認知件数8件、体罰0件）。 ・3回の個人面談実施、6月の事案は全て解消予定で、昨年度から1件は経過観察中。 ・11月に第2回アンケート実施予定。					各学年主任 生徒指導主任 教育相談担当 主幹教諭
	●衛生用品の校内設置 ○主体的な環境美化への取組	●校内女子トイレ数の1/3設置をめざす ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・掃除やごみ持ち帰りへの取組 80%以上	・生徒保健委員による衛生用品のチェック及び補充 ・生徒保健委員によるゴミのチェック ・生徒による環境美化に関するホームルーム活動	A	・ゴミ持ち帰りは、90%以上の意識の高揚がみられる。 ・環境美化に関するHRは12月に実施予定。		・		・	保健指導主任
	○自発的な読書習慣の確立	○生徒一人当たりの貸出冊数：年3冊以上 ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・自発的な読書習慣の涵養への取組み評価 70%以上	・推薦図書の紹介をﾌﾟﾘﾝﾄで配付 ・生徒が読書に関心を持つように、書架の整理や掲示物、ﾚｲｱｳﾄを工夫 ・真って読んだ本や電子版で読んだ本を集計	A	・学校図書館だよりで推薦図書を紹介して生徒の本への意識を高めた。 ・記録用紙を配布し、電子版も含めて読んだ本を記録しておくように指導している。 ・9月までの一人当たりの貸し出し冊数は3.72冊である。		・		・	学校図書館主任
●健康・体つくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0（ｾﾞﾛ）にする	・生徒指導部を中心に登校指導を行う ・生徒会の生徒宣言で「他を思いやる心」に関わる内容に触れるよう働きかける	B	・朝補習廃止にともない、登校指導の時間が確保しにくくなったた（上半期15日）。		・		・	生徒指導主任
	○感染症予防への取組	○校内での感染拡大を最小限にとどめる ○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・校内の感染症予防への評価 80%以上	・保健室利用状況及び感染症情報収集ｼｽﾃﾑ等を活用 ・生徒による感染予防を喚起するﾎｰﾑﾙｰﾑ活動の実施	A	・西高祭後、コロナウイルス陽性者が出た。若干消毒液の使用頻度が少ないように感じる。特に部活動での感染拡大がみられた。 ・感染予防を喚起するHRは12月に実施予定。		・		・	保健指導主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限遵守する	・定時退勤日の設定、定時退勤の呼びかけ ・各種システムの活用による業務改善と時間外在校等時間の削減 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定	B	・学習時間調査、欠席連絡、各種アンケートなど、ICTの活用による業務の効率化を図った。 ・夏休5日を取得しやすいよう週休日・祝日を除いた学校閉庁日を6日設定した。 ・時間外在校時間は昨年度より若干減少している。		・		・	教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
★探究活動の推進	★新・理想の星プロジェクトの実践 ★探究活動を通して、他者と協働できた90%以上	★探究活動を通して、自らの思考が深まった90%以上	・主体的な探究活動を推進し、ポスターセッションに向けて積極的に取り組ませる。 ・フィールドワークを推奨し、研究に深まりをもたせる。	A	・7～8月にかけて、フィールドワークを行い、研究に深まりが見出せている。 ・今後レポート、ポスターの制作に入り、1月にポスターセッションを行う予定。		・		・	各学年主任 各教科主任 進路指導主任
○個別支援の必要な生徒への対応	○個々の生徒の状況に即した教育相談	○今年度新規の不登校による長欠生徒数を前年比5割以下にする	・組織的な情報共有と連携による対象生徒の早期発見、早期対応 ・外部機関や専門機関（SSW、SC）等との連携 ・適切な他愛応力醸成のための職員研修の充実	A	・各学年の教科担当者連絡会等で情報共有を図っていることに加え、週毎の保健部会で各学年から気になる生徒の情報が共有され、組織的な支援体制を構築している。 ・保護者面談を通して、医療機関や相談機関につなげる手だてを行った。		・		・	各学年主任 保健指導主任 教育相談担当
○広報活動	○保護者、地域への積極的な魅力ある情報発信	○学校評価ｱﾝｹｰﾄ結果： ・本校の情報発信の取組みへの評価 80%以上	・西高だよりや学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ、ｽｸｰﾙNEWSを活用した、学校行事や進路情報、部活動成績などの情報を随時提供 ・西高だよりは、年6回の発行と内容の充実 ・学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ月2回以上の更新 ・保護者へのｽｸｰﾙNEWS登録の推奨	A	・西高だよりや学校ホームページ、スクールNEWSを活用し、学校行事や部活動成績等の情報を随時提供することができた。特に学校ホームページでは、前述のほとんどの情報を提供することができている。		・		・	広報研修主任

●･･･県共通　○･･･学校独自　◎･･･志を高める教育　★･･･唯一無二の誇り高き学校づくり

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・